

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 標津町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校2校・児童数36名、中学校2校・生徒数46名

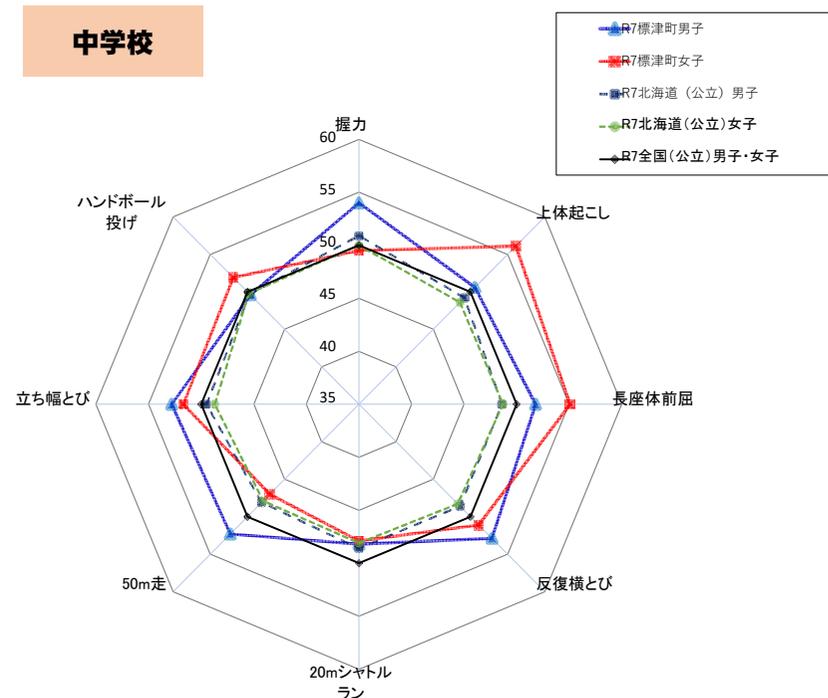
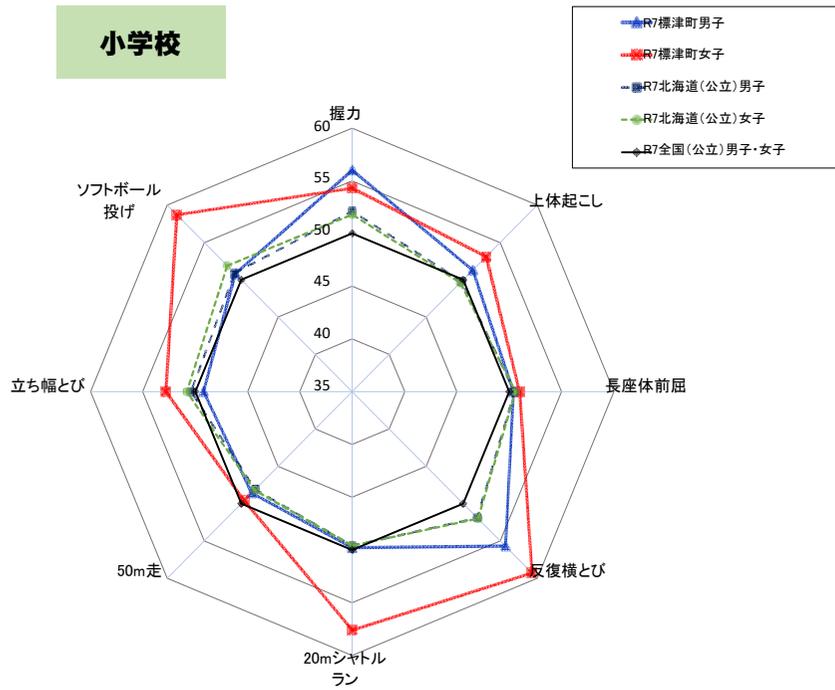
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7標津町男子	18.29	20.29	34.20	45.76	47.47	9.62	148.95	21.76	55.00
R7標津町女子	17.23	20.13	39.07	45.73	49.08	9.81	149.13	17.23	62.00
R7北海道(公立)男子	16.76	19.33	34.37	42.49	47.16	9.67	152.02	21.85	53.60
R7北海道(公立)女子	16.29	18.12	38.71	40.25	36.13	9.95	144.25	14.04	54.61
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.03
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7標津町男子	31.88	26.50	47.12	54.36	74.28	7.78	206.60	20.46	44.82
R7標津町女子	22.89	25.45	52.60	46.58	46.53	9.24	171.35	13.28	49.18
R7北海道(公立)男子	29.63	25.61	43.58	50.36	75.24	8.17	195.81	20.57	41.05
R7北海道(公立)女子	23.17	20.85	45.62	44.40	46.84	9.16	162.75	12.34	45.62
R7全国(公立)男子	28.94	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町の状況をレーダーチャートで表示

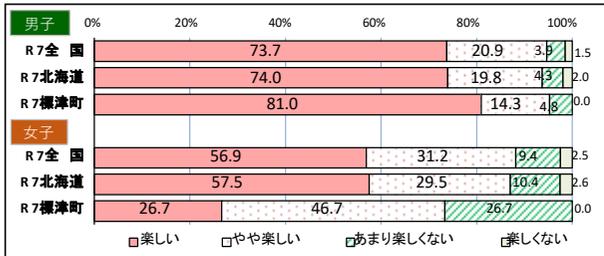


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

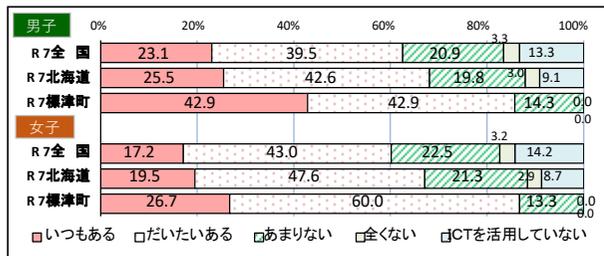
【児童質問調査】

・体育の授業は楽しいですか



【児童質問調査】

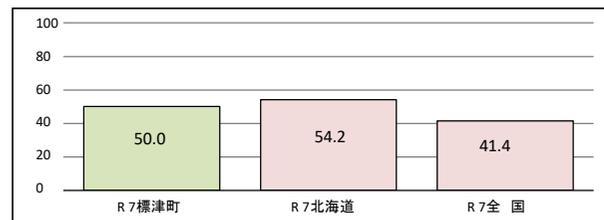
・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

小学校

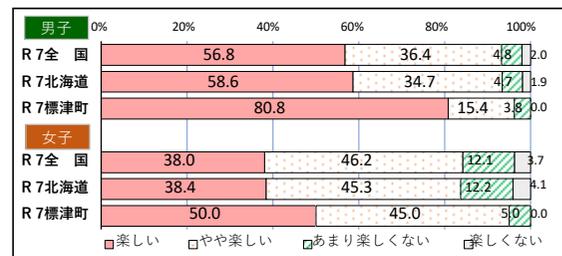
・体育授業において週1時間程度ICTを活用している。



中学校

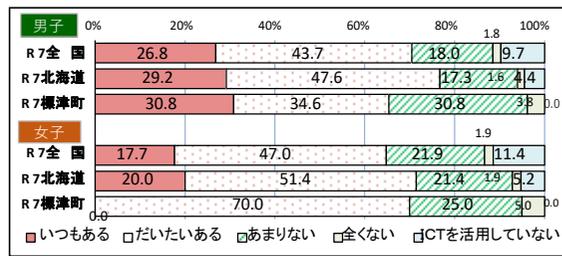
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



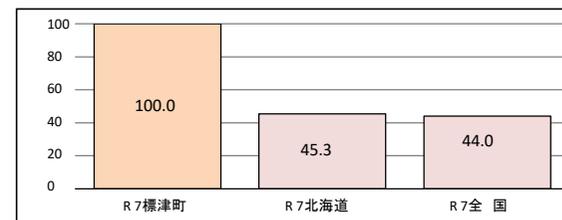
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



中学校

・保健体育授業において週1時間程度ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育の授業で積極的にICTを活用した運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる男子児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
 ・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度は同程度であり、ICTの活用が技能や知識の定着に十分つながり、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・運動に苦手意識のある女子児童の26.7%が「あまり楽しくない」と回答しているが、ICTの活用効果が肯定的に捉えているため、個別最適な指導を一層充実する必要がある。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業で積極的にICTを活用した運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「保健体育の授業が楽しい」と感じる生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度が高く、ICTの活用が技能や知識の定着につながっているものの、保健体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが「あまりない」「全くない」と回答している生徒の割合が、全国及び全道をやや上回っていることから、ICTの効果的な活用方法を一層充実する必要がある。

■ 標津町の体力向上に向けた改善方策

○標津町で作成した全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の作成及び普及啓発
 ○スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にした「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改革の推進
 ○体力向上に向けた各学校独自の「体力向上実践」の推進
 ○地域や家庭との連携による望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組や方策の検討及び事業の企画・実施